

あなたのご意見お聞かせください!



市役所を訪れて感じたことや普段の暮らしの中で感じたことについて、市役所への要望・意見・提案などがありましたら庁舎1階エレベーターホール付近に設置されている「ご意見箱」をご利用ください。浦添市役所ホームページ内からも受け付けております。

Q 単身用の市営住宅を増やしてほしい。

A 市営住宅の入居資格について第一の要件は、同居親族がいることですが、高齢者や身体障害者その他の特に居住の安定を図る必要がある方については、単身者でも入居を認めています。

単身入居の資格は、高齢者（60歳以上）、障害者、生活保護受給者、ハンセン病療養所に入所していた者、DV被害者で、浦添市営住宅設置及び管理条例第6号第1項の条件を満たしている方となっております。

単身者の入居を認めている市営住宅は、安波茶と前田の2か所です。

なお、単身者用の市営住宅の建設については、今後の住宅政策の中で検討していきたいと考えます。



(建築課)

Q 以前、市民ロビーに市民開放用のパソコンが設置されていましたが、今はなくなっています。またパソコンを設置してほしいです。

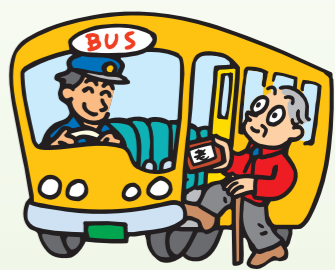
A 市民開放用のパソコンは、情報化社会の中でインターネットにアクセスする機会を身近に持っていたただけのように設置していません。

パソコンについては、市が所有する遊休資産（古くなったパソコンで、まだ使えるもの）を活用していましたが、そのパソコンが故障したため、現在は撤去しています。

現在、市民開放用に利用できるパソコンが無く、直ちに設置することは難しい状況ですが、今後パソコンを設置できるよう検討していきたいと考えていますのでご理解をお願いいたします。

なお、浦添市立図書館では、平成20年10月から市民開放用のパソコンを設置していますので、そちらのご利用もご検討ください。

(情報政策課)



Q 港川、学園通りを經由するバスを運行してほしいです。市役所、図書館などへ行くのに不便で困っています。

A 現在、本市においては、路線バスが運行していない地域を中心に、地方公共団体がその運行に関与していく「コミュニティバス」の導入について検討しています。

コミュニティバスの運行については、都市モノレールの利用促進を図るため、平成21年度に実証実験を予定しておりますが、市民へのアンケート調査等を実施して主要の公共施設、公益施設、交通結節点であるモノレール古島駅を結ぶルートを利用主体の市民と一体になって検討していきたいと考えています。

(企画課)

Q 市役所前の通りの花壇の花々が枯れていたり、その周辺が落ち葉やごみで汚れていたりしています。どうか綺麗にしてほしいです。

A 県道38号線の歩道、街路樹、花壇を含めて県の財産ですが、浦添市の幹線道路ということもあり、市も県の美化活動と連携しつつ、取り組んでいます。県が路面清掃や街路樹の剪定、草取り作業を行い、市は花壇への植え込みと水やりを受け持っています。また、市では、季節の草花が楽しめるように年4回程度の植え替えと根付くまでの継続した水やりを行っています。

しかし、貴殿が目にした状況が実体であることには変わりはありません。引き続き努力していきませんが、根本的には、市民全体の美化に対する意識の啓発・啓蒙が重要との認識をしています。快適な住環境を確保するために市民一人ひとりができること、役所だけでなくできないことをそれぞれの立場から検討し、可能な限り期待にこたえられるように取り組んでいきたいと考えています。

(環境保全課)

就任あいさつ

私は、去る2月8日施行の市長選挙において市民の負託を受け、3期目となる第12代浦添市長として、引き続き市政運営を預かることになりました。

改めて、その責任の重大さを痛感すると同時に、今後4年間、市民の皆さんの負託に応えるため、大いなる使命感を抱き、力の及ぶ限りその職責を全うする決意であります。

私はこれまで、「行政は最大のサービス産業」であることを念頭に、2期8年間、常に市民本意の市政運営に努め

てまいりましたが、この姿勢は、これからも変わることはありません。

またこの間、公約に掲げた諸施策実現のための精力的にまちづくりに取り組み、ハード・ソフト両面ともに、着実にその成果を上げてきたものと自負しております。

しかし、その成熟度は、まだ百パーセントではありません。今後とも、旺盛な市民ニーズにこたえるため、地域力を高める中で諸事務事業を実施し、子どもから高齢者に至る、11万市民の満足度の高い市政運営を行う決意であります。

『地域力』を高め、ひとづくり、ものづくり、まちづくり、に取り組みます

張明光 第12代浦添市長

現在の本市は、市民の平均年齢が37歳と若く、また次代を担う子ども達の人口も多く、その若いエネルギーが「てだこの都市・浦添」の発展の牽引力となっており、その若いエネルギーを吸収して活力に変え、新たな「てだこの都市・浦添」の建設を目指した多くの事業計画が進行中であり、中でも、返還が決まった牧港補給地区の跡地利用計画や1月に着工した西海岸開発事業「那覇港浦添ふ頭地区公有水面埋立工事」、都市モノレールの浦添延長等、本市は、限らない発展の可能性にあふれた、将来に夢の多いまちであります。

その将来の夢や、次代を担う子ども達の夢と希望が叶うような「てだこの都市・浦添」を実現するためにも、今やるべき課題は幾つもあります。

私は、この課題解決の糸口になるものとして、2期8年間の実績を踏まえ、次の三つのキーワードを重点施策に掲げました。

まず一つ目が、子育て支援や福祉・健康・生涯学習の推進であります。二つ目が就労支援、労働環境の整備であります。三つ目は、安心・安全な生活基盤づくりであり、これを



軸として地域力を高め、全市民が「浦添に住んで良かった」と思えるまちづくりに、全力で取り組んでまいります。

現代社会は、予測し得ないほど著しく変化中、財政状況も厳しく、地方自治体の対応も、その時々状況に応じて大きく変化してまいりました。私は、これからのまちづくりの基本となるのは「地域力」だと考えております。

その地域力を高めつつ、市民の目線で将来を見据え、市民と共に語り、11万市民の幸せのため実効性のある計画を着実に進めていく考えでありますので、市民の皆様のご支援・協力をお願い申し上げます。就任あいさつと致します。